

せつめい文

つぎの文しようにを 読んで もんだいに  
答えましょう。

オオアリクイは、メキシコから 南アメリ  
カ大りに かけての 草原や 森に  
すんで いる。 その 名前の とおり、  
アリを 食べて 生きて いる。  
前足には するどい 二本の つめが  
あって、これで、小山のように つくら  
れた アリの 巣に あなを あける。  
ふだんは、つめを かくすように 指を  
内がわに 丸めて、歩く。ちょっと おか  
しな 歩き方だ。歩くには、大きな つめ  
は じゃまに なるし、つめを きずけな  
い ためでも ある。  
ただし、オオアリクイは、あまり 歩か  
ない。一日の うちの 半分以上、ねむっ  
ている。  
体温も 地上の ほにゆう動物の 中で  
は かなり ひくく、三十三度くらいだ。  
つまり、省エネルギーで くらしている  
動物と いえる。  
起きて いる 時は、においで さがし  
た アリの 巣を じゅんに 回って、ア  
リを食べる。

(山 省三「アリクイの口のなぞが、ついにとけた！」)

1 なぜ「オオアリクイ」という名前  
なのですか。

2 「オオアリクイ」はどのように歩  
きますか

3 「オオアリクイ」は 何を 手がか  
りに アリの すを さがしますか。


4 「オオアリクイ」の せつ明として  
正しい ものを つぎから 二つ  
えらび、記こうで 答えましょう。

ア 草原や 森に すんで いる。

イ するどい つめで てきと た  
たかう。

ウ 一日中、アリを さがして いる。

エ 体温は 三十三度 くらいしか  
ない。